

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）  
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F113310103377	設置等組織名	音楽学部（音楽社会工学科）
大学名	東京音楽大学	設置区分	私立	事業計画名	東京音楽大学音楽学部音楽社会工学科設置計画
学校種	大学	都道府県	東京		

1. フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ 1	1-① 令和6年9月 新学科設置協議会の設置 1-② 令和6年9月～12月 新学科が育成する人材像に関するニーズ調査の実施 1-③ 令和7年3月 上記協議会にて新学科設置に関する提言書の取りまとめ 1-④ 令和7年4月～ 上記協議会に、下記の3事項に関する分科会の設置 ・新学科における学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成等 ・実践的な教育プログラム（起業プロジェクト、PBLプログラム、コア教育等）の実施 ・イノベーションカフェの設置、運営 1-⑤ 令和7年4月～ 起業や産官学連携事業、地域連携事業に関する先行事例の調査 1-⑥ 令和7年4月～ 広報用デジタルコンテンツ及びパンフレットの作成 1-⑦ 令和8年4月～ 新学科設置協議会及び分科会において、教育実施マニュアル、教育の質保証に関する方針の策定、イノベーション・カフェ運営要項等の作成	1-① 令和6年9月 新学科設置準備室の設置（R7.3.26） 1-② 令和6年9月～12月 新学科設置準備室において「新学科の方向性について」の検討（R7.3.26） 1-③ 令和7年1月～3月 「新学科の方向性」に基づき、下記について調査の委託・外注及び、先端大学ヒアリングへの新学科設置準備室職員が同行（R7.3.26） ・新学科が育成する人材像について企業等・高校へのヒアリング ・PBL、コア教育に係る企業等・高校へのヒアリング ・教育プログラムに関する先端大学へのヒアリング ・イノベーション・カフェに係る先端大学等へのヒアリング等 1-④ 令和7年4月 新学科設置準備室において、上記ヒアリング調査を踏まえ「新学科設置に関する提言書」の取りまとめ（R7.3.26） 1-⑤ 令和7年5月～令和8年2月 上記「新学科設置に関する提言書」に基づき下記について検討等を委託・外注、アンケート調査、先端大学調査・イノベーション・カフェ運営への職員同行（R7.3.26） ・共通教育（リベラル・アーツ教育）と専門教育に係るカリキュラム編成 ・各科目の授業担当講師探し ・競合校の想定 ・入学意向アンケート対象校の想定 ・イノベーション・カフェ構築・運営計画（イノベーション・カフェの運営検討を含む） ・広報用デジタルコンテンツの作成 1-⑥ 令和8年3月～4月 新学科設置準備室において、上記検討等を踏まえ「新学科設置に関する計画書」の取りまとめ（R7.3.26） 1-⑦ 令和8年5月～令和9年1月 上記「新学科設置に関する計画書」に基づき、下記について調査等を委託・外注 ・入学意向に関するアンケート調査（R7.3.26） ・離出先企業等の整理 ・広報用パンフレットの作成 1-⑧ 令和9年2月～ 新学科設置準備室において、これまでの取りまとめや調査・検討などを踏まえ、次の検討を行い、学内審議組織に上申し成案を得て行く。（R7.3.26） ・教育実施マニュアル ・教育の質保証に関する方針 ・イノベーション・カフェ運営要項等	R6年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
	○年度自己評価	リストから選択してください。		
フェーズ 2 前倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和9年3月 音楽社会工学科設置認可申請予定			
フェーズ 1 後倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ 2	2-① 令和9年4月～ 教育カリキュラム実施にあたって必要な改修整備及び設備・備品等を購入。 2-② 令和9年4月～ 実践的な教育プログラム（起業プロジェクト、PBLプログラム、コア教育等）の実施スペースの改修整備及び設備・備品等の購入 2-③ 令和9年4月～ イノベーション・カフェ（フィジカル空間）整備。学内改修工事及び設備・備品の購入、並びに学外スペースの選定 2-④ 令和9年4月～ イノベーション・カフェ（サイバー空間）整備。仮想環境の導入及び設備・備品等の購入。		○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増	令和10年4月 音楽社会工学科開設（入学定員40名、音楽・工学関係）			
フェーズ 2 後倒し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ 3	3-① 令和10年4月～ 教育カリキュラム、実践的な教育プログラム及びイノベーション・カフェの運営・管理 3-② 令和10年4月 新学科運営協議会の設置。下記の事項について、完成年度まで毎年度実施。 ・入学者選抜に関する自己点検・評価 ・在学生の満足度調査 ・イノベーション・カフェ利用者の満足度調査 3-③ 令和11年4月～6月 前年度実施教育カリキュラム、実践的な教育プログラムに関する自己点検・評価の実施（以降、毎年度実施）		○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	令和9年12月 音楽学部音楽学科定員減に係る届出予定（減員数0人、減員後の入学定員40人、音楽・工学関係）			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東京音楽大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	
	確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック 確認の対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック	
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な読解・能力等を評価する入学選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な評価保証の枠組みを活用するなど出口における評価保証にも十分留意することが重要。）	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取組む計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑧	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑨	入学定員が20名以上増加する計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑩	事業計画の決定があった日から4年を経過する日を含む年度末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）	
	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑪	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑫	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑬	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑭	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第16条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した <input checked="" type="checkbox"/> チェック	
⑮	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない <input checked="" type="checkbox"/> チェック	

4.審査項目における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

- 【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）**
- チェック a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
  - チェック b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
  - チェック c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
フェーズ1 期間中に以下の取組を進める計画である。 （1）新学科学習支援協議会の設置 令和6年9月を以て、①及び②に記載した、企業・団体、地方自治体、エリアマネジメント団体等を中心としたメンバー及び本学教職員からなる新学科学習支援協議会を設置する。 （2）協働体制の構築 同協議会にて令和7年3月までに取りまとめる予定の設置提言書を読み、令和8年度中に協議会に参加する企業・団体を中心に、新学科における実践的なプログラム科目（起業プロジェクト、PBLプログラム、コアオブ教育等）の導入に向けた協働体制を構築する。 （3）プログラムの作成 以降、実践的なプログラム科目をマネジメントする教員を中心に、連携企業・団体等と協力し、具体的なプログラムの作成を行う。	（1）新学科学習支援協議会の設置 新学科学習支援協議会は、令和6年9月に、本学教職員からなる「新学科学習支援協議会」として設置した。なお、①で掲げられている「地域における特定成長分野の人材を必要としている企業等との事前協議」については、委託・外注により、企業・団体等16社、高校2校との連携を実施した。 （2）協働体制の構築 協働体制の構築については、令和6年度は、新学科学習支援協議会において作成した「新学科の方向性について」に基づき、調査・検討等を委託・外注し、各方面からの情報収集をした。 （3）プログラムの作成 プログラムの作成については、令和6年度は、新学科学習支援協議会において、新学科の母体となる既存のミュージックビジネス・テクノロジー専攻の教員を、PBLやコアオブ教育の実施方法を検討した。	（1）新学科学習支援協議会の設置 申請書では、設置に係る検討は、新学科学習支援協議会において行うこととしておりましたが、年度ごとに計画どおり進めるには、学内に設置した新学科学習支援協議会において、年度、作成する検討資料に基づき、調査・検討等を委託・外注とする方が、助成事業の目的の達成をより効率的にできると、常勤理事会において判断し、変更することとした。 （2）協働体制の構築 令和7年度は、令和6年度に実施した調査・検討等を読み、新学科学習支援協議会において作成した「新学科学習に関する提言書」に基づき調査・検討等を委託・外注し、協働体制の構築について、改めて行う。 （3）プログラムの作成 令和6年度の検討を読み、令和7年度は、委託・外注する調査・検討等において、連携企業・団体を想定し、プログラム案を作成する。

**【B：多様な入学者の確保に向けた取組】**

- チェック a.入学選抜における科目の見直し
- チェック b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（カレント・リスキリングへの対応）
- チェック e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
従来、音楽大学における入学試験では実技試験が中心となっており、長期間にわたる音楽技術の習得が必要であった。 新学科では多様な入学者の確保に向け、面接や小論文等に加え、グループディスカッション、プレゼンテーション等を活用した入学選抜を実施する予定である。これらの新受験科目のテーマを設定するにあたっては、フェーズ1 期間中に実施する高校生を対象としたアンケート調査の結果を参考にし、新学科学習支援協議会において検討した上で、音楽分野及び新たに招聘する社会工学分野の教員が協力してある。	多様な入学者の確保に向けた取組については、令和6年度は、委託・外注した調査・検討等において実施した高校（7校）へのヒアリングで、「音楽と経営、デザインを組み合わせた学びはとも新鮮で、将来のキャリアの可能性が広がると感じた。」「音楽を学ぶだけでなく、社会に役立つ形で活用する方法を学べるのが魅力的。」等のコメントいただき、概ね好意的に捉えられた。新学科への新たなニーズを確認できた。このことを踏まえ、入学者の選抜方法については、さらに検討することとする。	令和6年度の検討を読み、令和7年度は、委託・外注する調査・検討等において、教育プログラム等検討や、イノベーション・コア構築計画に係る実施を実施する。新受験科目のテーマ設定については、この検討等を読み、新学科学習支援協議会において改めて行う。



















大学名	東京音楽大学
-----	--------

### 3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	310	310																		
		入学者数	人	354	405																		
	その他の学期	入学定員	人	***	***																		
		入学者数	人	***	***																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	310	310																		
		入学者数(B)	人	354	405																		
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.14	1.31																		
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,240	1,240																		
		編入学定員	人	***	***																		
		在籍者数(D)	人	1,374	1,399																		
		編入学者数	人	***	***																		
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.11	1.13																		

### 4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況			選定-6年	選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		102,063	109,643	138,717	124,156	195,088	257,172													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	124,172
本事業による助成金の額(F)	千円	8,375
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	124,382

#### 特記事項